



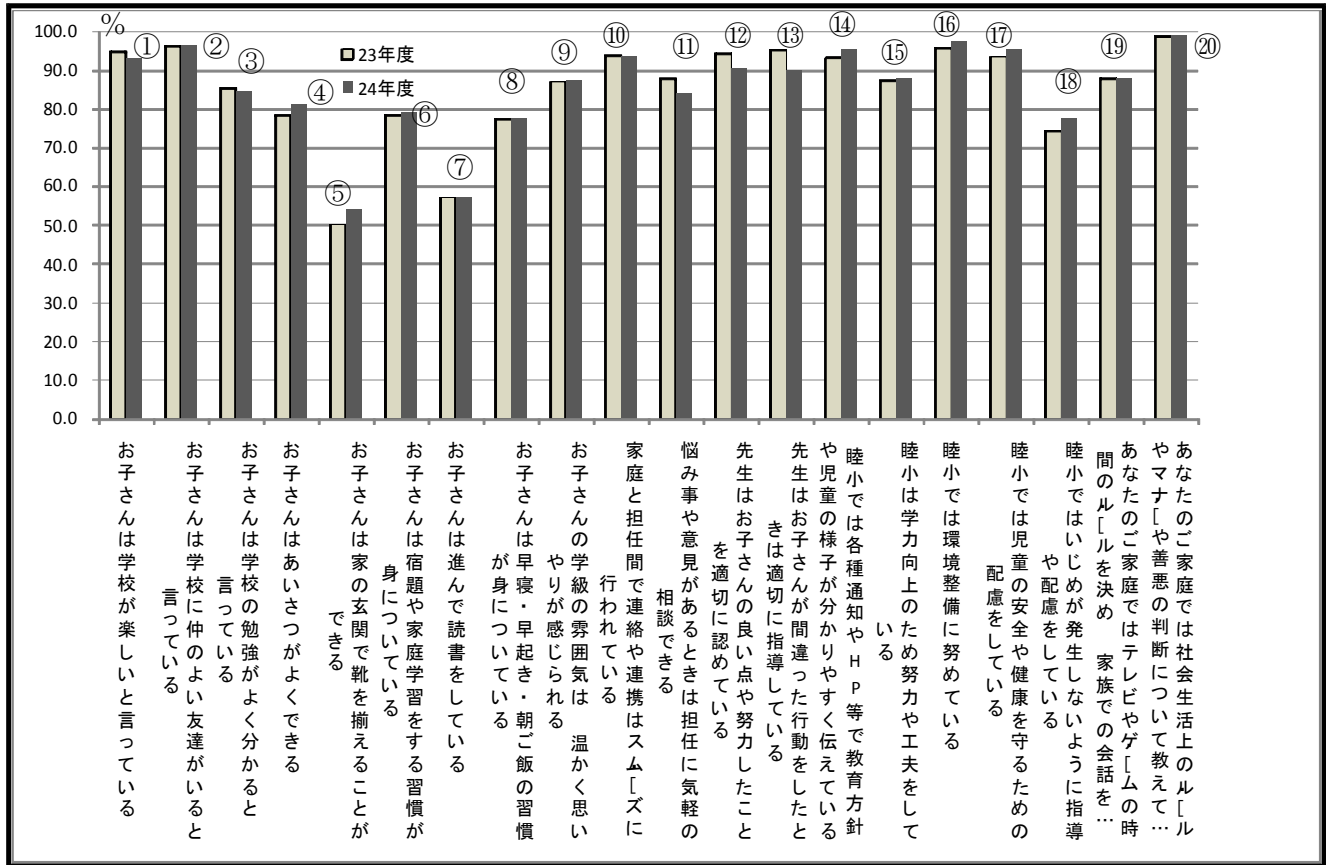
親子で読書 親子で会話  
親子で食事



校長 鈴木 学 平成25年3月15日

睦小学校だより 3月号

### 平成24年度 教育評価（保護者アンケート集計）



％は、「そう思う＋少しそう思う」の割合

全体的には、ほぼ昨年度と同じ傾向と言えます。努力点として取り組んできた挨拶と靴揃え（④、⑤）の評価が、わずかながら上がっているのは嬉しい限りです。ただし、他の項目と比べるとまだまだ低いですね。「どちらも学校ではできているようですが、家ではできていません。」というご意見が多くありました。

家庭学習と読書（⑥、⑦）には、向上が見られませんでした。家庭学習は、ほぼ80%と高い評価なので仕方ない面もありますが、読書については、親子読書の感想などを読ませていただいて、好感触をもっていただけに残念な気がします。次年度に向け、具体的な手立てを考えていきたいと思えます。

⑲の「テレビやゲームの時間のルールを決め、家族での会話を大切にしたり外遊びを奨励したりしている」については、保護者の評価はほぼ90%と高いのですが、児童向けアンケートで「テレビを見る時間のルールを決めて守っているか」という質問をしたところ、56%と最も低い項目になりました。親と子の意識のズレが表れています。『会話もするがテレビも見るといったところなのではないでしょうか。ぜひ、家庭でのルールについて、もう一度話し合っていただきたいと思います。』

⑪～⑬の担任関連の評価が少し下がってしまいました。この点につきましては、真摯に受け止め、改善できるよう努力して参ります。

## 教育評価アンケートから

いただいたご意見全てにお答えすることはできませんが、要望事項として上げられたものについてお答えいたします。

### ○ 持久走大会を実施してもらいたい。

練習の頑張りが記録としてはっきり表れる持久走は、体力向上はもちろん、努力の大切さを学ばせる意味からも実施する意義は大きいと思われます。そこで、自分の記録に挑戦するという意味合いを持たせ、校庭トラックを走る「持久走記録会」を実施する予定です。

### ○ 緊急時等の連絡に携帯電話へのメール配信をしてもらいたい。

本校単独で安心・安全に行うには経費の面で課題があります。このような声があることを町教委に伝えておきます。しばらくは、ホームページを活用していきたいと思っておりますのでご理解ください。

### ○ 学年下校ではなく、下校時刻が同じ学年を一緒にして下校班を作ってもらえないか。

安全面を考慮しての集団下校ですから、当然のご意見かと思えます。

ただ、例えば、同じ5時間（あるいは6時間）の授業日でも、5時間目に体育が入っている学年・クラスがあると、着替えなどの関係で、どうしても下校時刻にずれが出てきてしまいます。子どもの動きですから、この時間差が結構大きくて、待たせている方は、慌ただしく子どもたちを外に出すということになります。教師も児童も気持ちの上でゆとりのない中での下校となってしまいます。

また、学年・学級で、どうしてもその日のうち（放課後）に指導しておきたいことが起こることもあります。5～10分程度の指導でも大きな意味をもちます。

そのようなわけで、現在実施している学年単位での下校が機能的と考えております。

### ○ 上の子（中学生）の時は、学年を3つに分けた算数の授業があって、分かりやすく教えてもらった。また、実施してもらいたい。

今年度は、主に算数の時間にクラスを複数の先生で教える（チームティーチング・TT）により、習熟を図ってきました。児童の実態や単元によって、習熟度別や課題別学習など、より効果的と思われる学習形態を取り入れていきたいと思っております。

この他にもたくさんのご意見をいただきました。学校を一方的に批判するのではなく、建設的なご意見や家庭の教育を振り返っての感想などを多くいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

## 卒業おめでとうございます

睦小の『顔』として、下級生を立派にリードしてくれた6年生の卒業の日が近づいてきました。

今年の6年生の印象としては、明るく素直で、何事にも前向きに取り組む姿が、すぐに浮かびます。

4月には、新1年生に対し紙芝居をしたり、着替えの世話をしたりして、優しいお兄さんお姉さんぶりを発揮してくれました。そして、1年生からのお礼の手紙に心から感動していました。この純真さが、今年の6年生の宝物であったと思います。

朝の清掃ボランティアや挨拶運動などでは、やらされているのではなく自分たちで進んでやっているという気持ちが強く伝わってきました。大切な行事でも「6年生に任せておけば大丈夫」といった安心感をもつことができ、大変頼もしい存在でした。

睦小をよい学校にしてくれた59名の卒業生に深く感謝し、心からお祝いしたいと思います。

